作成日：2025 年　5 月　2 日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

前立腺癌における I-125 永久挿入密封小線源治療の治療成績に関する検討

１．研究の対象および研究対象期間

昭和医科大学病院泌尿器科で 2005 年 1 月から 2025 年 3 月までの期間、昭和医科大学江東豊洲病院泌尿器科で 2014 年 4 月から 2025 年 3 月までの期間で I-125 永久密封小線源治療を行った患者さん

２．研究目的・方法

昭和医科大学で限局性前立腺がんに対するヨウ素 125 密封小線源永久挿入療法が 2005 年 1 月に導入され、2021 年 3 月までに約 1500 例施行されています。 前立腺がん罹患率は上昇しており、それに伴いヨウ素 125 密封小線源永久挿入療法を選択される機会が増え ております。しかし症例数が増加する一方再発症例も増加するものと考えられます。 術後の予後を含めた治療成績や再発予測因子などを明らかにすることは、医療者のみならず治療を受ける患 者様にとっても有力な情報となるものと考えます。そのため限局性前立腺がんに対するヨウ素 125 密封小線源永久挿入療法の症例において、予後を含めた治療成績や再発予測因子について臨床的に後ろ向きに検討することとしました。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから　2027 年　12 月　31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

病歴、治療歴、副作用の発生状況、血液・尿検査データ、画像検査データを使用します。

５．外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のＩＤを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和医科大学病院、昭和医科大学江東豊洲病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、

昭和医科大学病院および昭和医科大学江東豊洲病院から昭和医科大学医学部泌尿器科学講座へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

６．研究組織

研究責任者	医学部泌尿器科学講座	深貝 隆志
研究分担者	医学部泌尿器科学講座（昭和医科大学江東豊洲病院）	森田 將
	医学部泌尿器科学講座（昭和医科大学病院）	永田 将一
	医学部泌尿器科学講座（昭和医科大学病院）	押野見 和彦
	医学部放射線医学講座放射線治療部門 (昭和医科大学江東豊洲病院)	師田 まどか
	医学部放射線医学講座放射線治療部門 (昭和医科大学病院)	加藤 正子

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部泌尿器学講座　　氏名：押野見　和彦
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8　　電話番号：03-3784-8560